

製品仕様

ハードウェアスペック			
名称	Abaniact PoE L2M Gigabit HUB		
型式	AML2-PS16-17GP		
サポート規格	IEEE 802.3 10BASE-T		
	IEEE 802.3u 100BASE-TX		
	IEEE 802.3ab 1000BASE-T		
	IEEE 802.3x Flow Control		
	IEEE 802.3ad Link Aggregation(Manual Configuration)		
	IEEE 802.1D Spanning Tree(STP Compatible)		
	IEEE 802.1Q VLAN Tagging		
	IEEE 802.1X Port Based Network Access Control		
	IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol		
	IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree		
IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree			
インターフェース	10/100/1000BASE-T(RJ-45)×16ポート		
	WAN/コンソールポート(RJ-45)×1ポート		
オートネゴシエーション			
Auto MDI/MDI-X			
Full Duplex 固定/Half Duplex 固定(10/100Mbps 設定時)			
ステータスLED			
		POWER LED(緑)×1	
		Link/Act(緑)×17、Speed(緑/橙)×17	
		PoEステータスLED(緑/赤)×16	
		PoE Power Max LED(赤)×1	
PoE給電機能	PoE給電方式	Alternative A	
	PoE給電規格	IEEE802.3at, IEEE802.3af	
	PoE給電機能	最大供給電力198.8W	
冷却ファン		なし	
電気仕様	定格入力電圧	AC100-240V	
	入力電圧範囲	AC90-264V	
	定格周波数	50/60Hz	
	最大消費電力	233.9W(2.38A)	
環境仕様	動作時温度	0～50℃	
	動作時湿度	80%以下(結露なきこと)	
	保管時温度	-20～60℃	
	保管時湿度	95%以下(結露なきこと)	
スイッチ性能			
スイッチング方式		ストア&フォワード	
スイッチング・ファブリック		34Gbps	
パケットバッファ		512KByte	
フラッシュメモリー		32MByte	
メインメモリー		128MByte	
MAC アドレス登録数		8K	
VLAN 登録数(VID=1～4,094)		256個	
リセットボタン		1秒=本体再起動	
外形寸法	W 335 × D 260.7 × H 44 (mm) (放熱フィン含む・その他突起物含まず)		
重量	3.0kg(本体のみ)		
適合規格	EMI規格 VCCI ClassB		
	環境規格 EU RoHS		
付属品	AC電源ケーブル		
	取扱説明書(CD-ROM)		
	取扱説明書(本書)		
	電源ケーブル抜け防止フック		
	L型ブラケット		
	T型ブラケット		

ソフトウェアスペック			
スイッチング機能	ポートランキング(IEEE802.ad Manual Configuration)		
	ポートミラーリング		
	フローコントロール/受信時のみサポート		
	ブロードキャストストームプロテクション		
	スパニングツリー(IEEE 802.1D)		
	RapidS/Pバニングツリー(IEEE802.1W)		
	マルチプルスパニングツリー(IEEE802.1S)		
	IGMP v2/v3スヌーピング		
	MLD v1/v2スヌーピング		
	DHCPスヌーピング		
	BPDU透過、EAP透過		
	UDLD、Jumboフレーム対応		
	インGRESフィルタリング		
	HOLブロッキング防止		
ポート管理	ループガード(LDF検出)		
	ループガード(受信レート検出)		
VLAN	ポートベースVLAN		
	タグVLAN(IEEE802.1Q)		
	マルチプルVLAN		
	ダイナミックVLAN		
QoS機能	キューの数:8		
	優先制御(Cos/ToS/DSCP/ポリシーベース)		
	帯域制限		
	スケジューリング(絶対優先、WRR)		
認証機能/セキュリティ	IEEE802.1X認証(Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)		
	802.1x暗号方式(MD5/TLS/TTLS/PEAP)		
	MACベース認証(Multiple Authentication)		
	Web認証(Multiple Authentication)		
	ポートセキュリティ		
	アクセス参照		
	RADIUS認証		
マネージメント	Webブラウザ設定		
	Telnet、CLI		
	SNMPv1/v2c、ログ		
	SNTPクライアント		
	DHCPクライアント		
	MIBII(RFC1213)		
	Extended Interface MIB(RFC2863[if X Entry])		
	Bridge MIB(RFC1493)、Dot1q MIB(RFC2674)		
	Ethernet MIB(RFC3635)		
	スクリプト、統計情報の表示		
	ファームウェアおよび設定ファイルダウンロード(TFTP/HTTP)		

省エネ法に基づく表示	
区分	B
回線速度および回線速度ごとのポート数	1Gbit/s × 17ポート
最大実効伝送速度※	17.0Gbps
エネルギー消費効率	2.23W/Gbps
※省エネ法に定める測定方法により測定された、フレーム長が1518バイトの時に おける最大実効値です。	

寸法図	
単位:mm	

製品保証書			
製品名/ 型 式	アバニアクト PoE L2M Gigabit HUB/ AML2-PS16-17GP		製造 番号
ご購入日	年 月 日	保証 期間	ご購入日より 1年間
お 客 様	フリガナ お名前	様	
	ご住所 〒 -		
	電話番号() -		
販売店/ 工務店/ 電気施工店	店名・住所 〒 -		
	電話番号() -		

【保証規定】※必ずお読み下さい。

第1条(保証内容)
当社は、お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に本製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償により修理または取り替え(以下、「修理等」といいます)を行います。

第2条(保証手続)
1.保証期間内に本製品が故障して修理等を受ける場合、
①本製品が取付け対象とならないときは、本製品および本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼して下さい。
②本製品が取付け対象となるときは、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理等に応じて本書をご提示下さい。
2.持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、当社が出張により修理等を行った場合には、出張 費用はおお客様の負担となります。
3.本製品を取り替えた場合には、回収した本製品の所有権は当社に帰属致します。

第3条(免責)
1.以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は本製品に関して保証責任を負いません。この場合、有料対応となります。
①使用上の誤り及び不当な修理又は改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、損害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
④本製品の設置工事の不良によって生じた故障及び損傷
⑤お客様により本製品の分解・改造・補修・付属品取付け等が行われた場合

⑥本製品の通常の自然消耗・変色等専ら材料の自然特性または経年劣化による場合
⑦本製品に接続された別の機器・部材・ソフトウェア等に起因する場合
⑧本書のご提示がない場合
⑨本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合又は字句を書き換えられた場合
2.当社は、本製品の故障または使用によって生じたお客様の間接損害、データ損失のいずれに関しても、一切の責任を負いません。

第4条(その他)
1.本書は、日本国内においてのみ有効です。
2.本書は、再発行致しませんので、大切に保管して下さい。
3.ご転居の場合には、事前にお買い上げの販売店または当社までご相談下さい。
4.ご購入品等でお買い上げの販売店や修理等がご依頼にない場合には、当社までご相談下さい。
5.本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて修理等をお約束するものではありません。従って、本書によって当社及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社までお問い合わせ下さい。
6.お客様にご記入頂いた個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。(N-2 第2版)

 **因幡電機産業株式会社**
産機カンパニー ハウジング営業部
〒540-0012 大阪府市中央区谷町4-11-6 中央土地谷町ビル4F

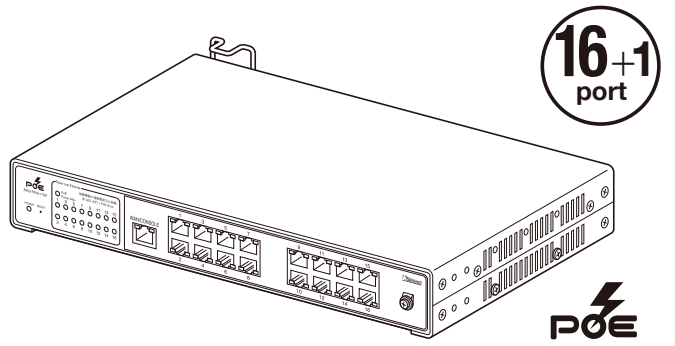
※本書の記載内容について、ご不明な点は、下記URLの
お問い合わせフォームをご利用ください。

<https://www.inaba.co.jp/abaniact/L2SW/>

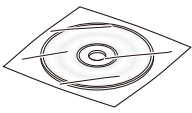
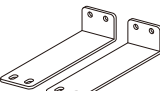
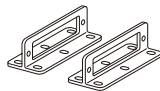
AML2-PS16-17GP アバニアクト PoE L2M Gigabit HUB 取扱説明書



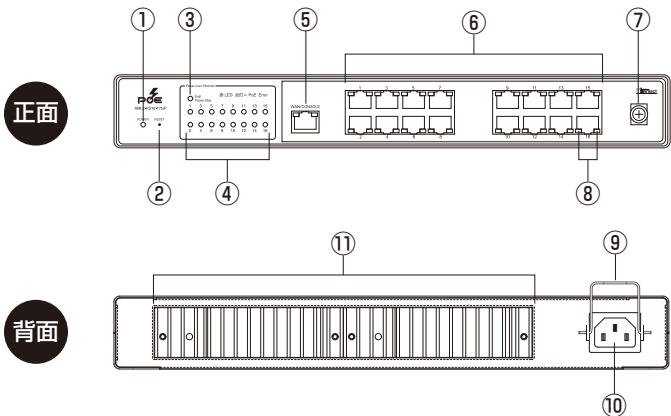
安全上のご注意	
●ご使用のまえにこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、本製品を正しくお使いください。 ●ネットワークの設定については、同梱「CD-ROM」の「取扱説明書ソフト編」をお読みください。 ●本書は大切に保管してください。	
この取扱説明書及び製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの方々への 危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意 味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。	
⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可能 性が想定される内容を示しています。	⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いを すると、人がケガを負う可能性または物的損害の発生の 可能性が想定される内容を示しています。
絵表示の例 ⛔ 禁止(してはいけないこと)を示しています。 ⚡ 強制(必ず実行すること)を示しています。	



警告	
⛔ 禁止 家庭用電源(AC100V)以外では絶対に使用しないでください。 異なる電源で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因になります。	⛔ 禁止 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。 電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったり すると電源ケーブルを損傷し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。
⛔ 禁止 風通りの悪い場所に設置しないでください。 過熱し、火災、けが、故障の原因になります。	⛔ 禁止 煙が出たり、異臭がしたら、使用を中止し、ACコンセントからプラグ を抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。
⛔ 分解禁止 分解や改造はしないでください。 感電、火災や破損の原因になることがあります。	⛔ 禁止 濡れた手で扱わないでください。 電源が接続された状態で、本製品の操作や接続作業を行うと感電の原因に なります。
⚡ 強制指示 必ず付属の電源ケーブルを使用してください。 本製品付属以外の電源ケーブルの使用は火災、感電、故障の原因となります。	⛔ 禁止 本製品は、医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器 などの人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだ使用 は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどには本製 品は使用しないでください。本製品の故障による社会的な損害や二次的な被 害が発生する恐れがあります。
⚡ 強制指示 必ずアース線を接続してください。 感電・誤動作・故障の原因となります。	⚡ 注意 事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。 本製品にほこり等が付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。 ほこり等が付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく 拭き取ってください。
⛔ 禁止 多段積みで使用したり、通気孔をふさいだりしないでください。 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。	⛔ 禁止 雷の時は、本製品に接続されているケーブル類に触らないでください。 落雷による感電の原因になります。
⛔ 水場禁止 次のような場所で使用や保管はしないでください。 ・直射日光のあたる場所。 ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)。 ・振動の激しい場所。 ・腐食性ガスの発生する場所。 ・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所。 ・ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所。	⛔ 禁止 落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になることがあります。
⛔ 水漏れ禁止 本機器に接続するLANケーブルには電気が流れていますので、端 末加工を行う場合は必ず本機器の電源ケーブルを抜いてください。	⚡ 感電危険

おことわり	
●本製品は国内仕様となっており、外国の規格などには 準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社 ではいかなる責任も負いかねます。 ●改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありま すが、あらかじめご了承ください。	
電波障害自主規制について	
この装置は、VCCIクラスB適合品です。 	
主な特徴	
●幅広い業務用途に最適なインテリジェントスイッチ ●様々なVLAN機能に対応 ●SNMPなど充実したネットワーク管理 ●PoE (IEEE802.3at) 対応。1ポートあたり最大30Wまでの 給電が可能な高出力タイプ。 ●パワーコントロール機能搭載で通信を行っていないポート を省電力。 ●1000Mbps/100Mbps/10Mbpsを自動認識、接続端末 の速度に合わせて自動設定(オートネゴシエーション機 能)。 ●MDI/MDI-X自動認識でカスケード接続もクロスケーブル 不要。 ●ファンレス静音設計 ●ラックマウント、BOX取り付け、どちらにも標準対応	
付属品の確認	
●AC電源ケーブル 1本  ※同梱の電源ケーブルは AC100V用です。	●取扱説明書(本書) 1枚 
●電源ケーブル抜け防止 フック 1個 	●L型ブラケット 2個 
	●T型ブラケット 2個 
	●シリコンゴム足 4個 
	●ネジ 8本 

各部の名称・機能と使い方



- ①POWER LED (緑)
… 本体に電源が供給されている時に点灯します。
- ②リセットボタン
… 細い棒などで約1秒押すことで、本製品をリセットできます。
- ③PoE Power Max LED (赤)
… PoE最大供給容量を超えた、又は1ポートあたり最大供給容量を超えた場合に点滅します。(下記、「PoE電源仕様・動作について」参照)
- ④PoE ステータス LED (赤・緑)
… 各ポートのPoE給電状態を表します。
(下記、「PoE電源仕様・動作について」参照)
- ⑤WAN/コンソールポート
… 上位側の機器と接続するRJ45ポートです。PoE給電機能はありません。
- ⑥PoE給電ポート
… 受電機器を接続するRJ45ポートです。IEEE802.3at.afに対応しており1ポート当たり最大30Wまで給電可能です。
Abaniciac推奨ケーブルまたはCAT5e以上のケーブルをご使用下さい。
ケーブル長は100m以内としてください。
- ⑦アース端子
… アース接続することで、サージを改善できる場合があります。
必ずアース線を接続してください。
注意 付属の電源コード(3芯プラグ)でも、ACコンセントが接地されていれば電源コードからアース接続されます。
- ⑧ポート LED
… 接続されている機器との通信状態速度を表示します。
- | | |
|-----------------------|--|
| 左 : Speed
(緑／橙) | 点灯(緑):1000BASE-T
点灯(橙):100BASE-TX
消灯:10BASE-Tまたはリンク未確認 |
| 右 : Link / Act
(緑) | 点灯:リンク確認中
点滅:通信中
消灯:リンク未確認 |
- ⑨電源ケーブル抜け防止フック
… 電源ケーブルの抜け落ちを防止する金具です。
ご購入時には、フックは取り外された状態で梱包されています。
- ⑩電源コネクタ
… 電源ケーブルを接続するコネクタです。
- ⑪放熱フィン
… 本体の熱を放熱する為のフィンです。 **注意** 高温になるので直接触れないでください。
- ⑫T型ブラケット用ネジ穴
… T型ブラケットを取り付けるネジ穴です。
- ⑬L型ブラケット用ネジ穴
… L型ブラケットを取り付けるネジ穴です。
- ⑭通気口
… 本製品内部の熱を逃がすための通気口です。通気口をふさがないようにしてください。

PoE 電源仕様・動作について

PoE電源仕様

- 給電方式は Alternative A を採用。
- 受電機器はIEEE802.3at (PoE+) 対応、IEEE802.3af (PoE) 対応のいずれも給電できます。
- PoE装置全体最大容量(チップ消費分含む) : 210W
- PoE最大供給容量 : 198.8W、1ポートあたり : 30W
- PoE最大供給容量を超えた場合、16番ポートから順に給電を停止します。
→ 合計の電力量が198.8Wを超えない様に受電機器を接続してください。
万が一、PoE最大供給容量を超えた場合、16番ポートから順に給電を停止します。
(超えたときの動作例を参照してください。)

ランプの点灯動作

- ① PoE Power MAX LED (赤)
- | | |
|----|--|
| 点滅 | PoE最大供給容量(198.8W)を超えている、又は1ポートあたり最大供給容量(30W)を超えているとき |
| 消灯 | 受電機器に正常に給電しているとき |
- ② PoE ステータス LED (緑・赤)
- | | |
|-------|---|
| 点灯: 緑 | 受電機器に正常に給電しているとき |
| 点灯: 赤 | PoE最大供給容量を超え給電停止したとき(16番ポートから順に停止)
1ポートあたりの最大供給容量(30W)を超えたとき
受電機器側で問題が発生したとき
注意 給電は自動で停止し、ケーブルを抜き取ると消灯します |
| 消灯 | 受電機器に給電していないとき |

同時に給電可能な最大ポート数と最大消費電力

PoE Class	最大ポート数	最大消費電力
IEEE802.3af Class2 (7.0W使用する場合)	16ポート	136.6W
IEEE802.3af Class3 (15.4W使用する場合)	13ポート	219.3W
IEEE802.3at Class4 (30.0W使用する場合)	6ポート	201.2W

注意 本製品の最大消費電力は233.9Wです。
Class4であっても供給電力が低い場合は、最大16ポートまでの接続が可能です。

PoE最大供給容量(198.8W)を超えたときの動作例

- ① 1～5,7番ポートにClass4(30W)を接続した場合(合計180W)
- | | | |
|------------------------|---------------------------------------|------------------------|
| PoE Power MAX LED
消 | PoE ステータス LED
1...5 6 7
緑 緑 消 緑 | ・1～5,7番ポート 正常給電(計180W) |
|------------------------|---------------------------------------|------------------------|
- ② 6番ポートにClass4(30W)を追加接続した場合(合計210W)
- | | | |
|-------------------------|---------------------------------------|--|
| PoE Power MAX LED
点滅 | PoE ステータス LED
1...5 6 7
緑 緑 緑 赤 | ・1～6番ポート 正常給電(計180W)
・7番ポート 給電停止(30W) |
|-------------------------|---------------------------------------|--|
- 注意** PoE最大供給容量を超えた場合、接続した順や負荷の容量に関わらず16番ポートから順に給電を停止します。
- ③ 7番ポートのケーブルを抜き取ることで赤LEDが消え、正常状態へ戻る
- | | | |
|------------------------|---------------------------------------|--|
| PoE Power MAX LED
消 | PoE ステータス LED
1...5 6 7
緑 緑 緑 消 | ・PoE Power MAX LED 消灯
・PoE ステータス LED (7番ポート) 消灯 |
|------------------------|---------------------------------------|--|
- 注意** 容量超えポートの給電は②で停止済ですが、LED(赤/点滅・点灯)はケーブルを抜き取らないと消灯しません。

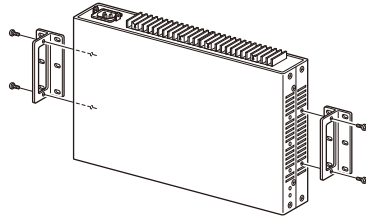
設置と接続

平らな場所に設置する

- 1.本製品の底面に付属のシリコンゴム足を4カ所に取り付けます。
- 2.平らな場所に本製品を置き、本製品の周囲にスペースを十分に確保して設置してください。

壁面 等へ設置する(T型ブラケットを使用)

- 1.本製品にT型ブラケットを図の様に取り付けます。
- 2.T型ブラケットを壁に取り付けて固定してください(ネジは付属しておりません)

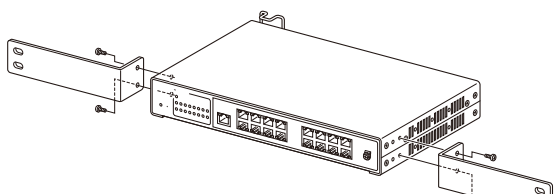


19インチラック(EIA規格)へ設置する(L型ブラケットを使用)

注意 ラック内の温度は室温より高くなりやすいため、ラック環境の温度が指定された動作温度範囲であることを確認してください。

- 1.付属品の取付金具(2個) とねじ(取付金具と本体接続用) 4本を取りだし、本製品の横にある穴にねじで本製品と取付金具を接続してください。
- 2.ラックに付属のネジで、しっかりと本製品をラックに設置してください。

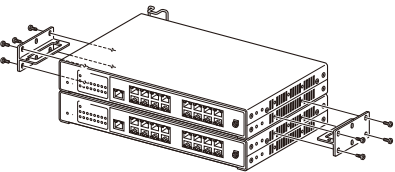
注意 ネジ止めが不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。確実に固定してください。



2台重ねて設置する

本製品を2台重ねて使用する場合は各製品の底面に付属のシリコンゴム足を4カ所に取り付け、T型ブラケットで片側4個以上のネジで固定してください。

注意 重ね合わせ台数は2台までです。
3台以上は重ねないでください。

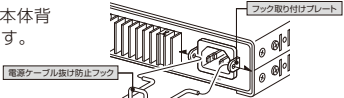


電源ケーブルを接続する

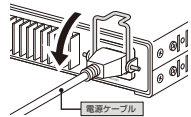
本製品は電源ケーブルを挿入すると自動的に電源が入ります。

注意 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると発火や感電の恐れがあります。

- 1.同梱の電源ケーブル抜け防止フックを本体背面のフック取付プレートに取り付けます。



- 2.電源ケーブルを本体前面の電源コネクタに接続します。
- 3.ケーブル抜け防止の為、電源ケーブル抜け防止フックで固定します。



4. 電源プラグを電源コンセントに接続すると電源が入り本体前面のPOWER LEDが点灯します
5. 電源プラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意 電源OFF/ONにする場合は、少し間をあけてから実施してください。

設定の準備

本製品は電源投入後通常のスイッチングハブとして動作しますが、管理機能等を使用される場合は、WEB設定画面、Telnetを使用して設定する必要があります。

注意 設定の際は、IPアドレスが設定されていないとできません。必ずはじめにコンソールポートから少なくともIPアドレスの設定を行ってからアクセスしてください。IPアドレスの設定はソフトウェア編を参照してください。

故障かな?とおもったら

インターネット編

➡ インターネットにつながらないなど、故障かな?と思ったら 次のステップでチェックしてみてください。

STEP 1 周辺機器や環境のチェック

多くの場合、本製品以外の原因も考えられます。
下記チェック項目に従って、ご使用の周辺環境および通信機器を点検してみてください。

POINT▶一度つなぎ直してみる

チェック項目	考えられること・対処方法
① ネット回線に異常はないか。	インターネット回線自体に不具合が起きていませんか? 回線業者様にお問い合わせ下さい。
② モデムやルータに異常はないか。	本製品以外の通信機器に不具合が起きていませんか? 各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせ下さい。
③ LANケーブルに異常はないか。	ルータ・モデム～本製品間でLANケーブルの断線や接点部の接触不良が起きていませんか? ケーブルの抜き差しもしくは、交換を試みてください。
④ 他の端末も同様につながらない状況か。	該当の端末以外の機器が正常にインターネットにつながっている場合、その端末固有の不具合か配線などの物理的な接触不良が考えられます。続けて以下をチェックしてください。
⑤ LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか。	本製品～各端末機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか?LANコンセントの抜き差し、ケーブルの抜き差しもしくは交換を試みてください。壁内のLAN配線については、ハウスメーカー様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
⑥ 使用端末に異常はないか。	お使いのパソコン等端末機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等、各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせ下さい。

STEP 2 本製品のチェック&リセット

STEP1でうまくつながらない場合、下記チェックポイントに従って本製品を点検してみてください。
いずれかの症状に該当する場合、リセットすることで復旧するケースが多くなります。

POINT▶一度リセットしてみる

チェック項目	考えられること・対処方法
⑦ POWER LEDは消灯しているか。	消灯している場合、何らかの原因で電源が入っていません。電源ケーブルの抜き差しをしてみてください。
⑧ Link/Act LEDは消灯、異常点灯しているか。	消灯、もしくは薄暗く点灯の場合、ハングアップ(フリーズ) が起きている可能性があります。 リセットボタンを押してから、再度ネット接続を確認してみてください。
⑨ ネットワークの設定は正しいか。	診断機能のロギングした内容を確認してください。

STEP 3 ご購入先にお問い合わせ

STEP1,2でも復旧しない場合は、ご購入先のハウスメーカー様、工務店様もしくは、販売店様にお問い合わせ下さい。
パスワードを忘れてログインできない場合は、弊社まで連絡のうえ、修理ご返却ください。

PoE編

➡ PoE給電がうまくできない場合は、次のステップでチェックしてみてください。

STEP 1

チェック項目	考えられること・対処方法
① 該当 LAN ポートの Speed LED が消灯していないか。	消灯している場合、何らかの原因で受電機器へ給電できていません。続いて以下チェックしてください。
② LAN ケーブルが断線していないか。	CAT5e以上のケーブルを使用し、チェッカーで成端加工がきちんとなされているか、確認してください。 また本製品および受電機器側に、確実にケーブルが接続されているかも確認してください。
③ PoE 非対応機器を接続していないか。	受電側機器が、IEEE802.3atまたはIEEE802.3af規格に準拠していますか?仕様を確認してください。
④ PoE Power Max LED が点灯していないか。	点灯している場合、装置全体で供給可能電力量を超えてオーバーロードが発生しています。 この場合、16番ポートから順に可能容量に下がるまで給電をストップしています。 全体の給電電力量がスペック値に収まるよう、受電機器の見直しをしてください。
⑤ PoE ステータス LED が赤点灯していないか。	赤く点灯している場合、1ポートあたり最大供給電力30Wを超えた、又は、受電機器側で問題が発生したため、給電を停止しています。受電機器側の正常稼働を確認してください。

STEP 2 STEP 1でも復旧しない場合、ご購入先のハウスメーカー様、工務店様もしくは販売店様にお問い合わせ下さい。